

うるおい木曾

東海三県を水で結ぶ - 木曾川用水

Vol. 78

2020・1月

水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構

発行：木曾川用水総合管理所
〒495-0036

愛知県稲沢市祖父江町馬飼寺東26-1

TEL 0587-97-3710(代表)

FAX 0587-97-1482

ホームページアドレス

<http://www.water.go.jp/chubu/kisogawa>

明けましておめでとうございます



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さま方には、輝かしい令和2年の新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

去年は平成から令和へと新しい時代がスタートした歴史的な年でありました。

木曾川用水総合管理所では、木曾川用水施設である木曾川大堰、濃尾第二施設の管理、木曾川右岸施設の管理及び改築を実施するとともに長良導水施設の管理を行っています。昨今の地球温暖化の影響からか去年は日本列島への大型台風の来襲が多かった年でしたが、木曾川用水総合管理所が管理している施設では通水障害もなく、皆様に必要な水を届けることができました。また、令和2年度の完工を目指して実施している木曾川右岸緊急改築事業も計画通り工事を進めることができました。これもひとえに皆さま方の水利用の調整にご尽力いただき、施設の日々の運用にあたりご理解ご協力いただいた賜物と、深く感謝申し上げます。

去年を振り返りますと、年明けからの少雨傾向で1月から3月までが例年の50%、4月も例年の75%程度の降雨しかありませんでした。このため、木曾川の流況が悪化し、利水者の皆様に水源状況の説明をさせていただくため、ご足労をおかけすることとなりました。しかし、その後、恵みの雨により皆様に節水をしていただくことなく、水を供給し続けることができました。

また去年は、台風による被害も顕著で、9月上旬には台風15号により千葉県を中心とした長期間にわたる停電が発生し市民生活に大きな影響を与えました。10月中旬には台風19号が阿武隈川や千曲川等の大河川で決壊や溢水を引き起こし、広範囲に被害を与えました。10月下旬には台風21号の影響により千葉県を中心に半日で10月の平均降雨以上の豪雨があり、河川の氾濫を引き起こす等、多くの方が被災されました。これらの台風等により被害に遭われた方には心よりお見舞い申し上げます。

この地域では幸いなことに、これらの台風の直撃をまぬがれ、大きな被害は発生しませんでした。しかし、台風接近の直前までは東海地方に上陸する予報が出されるなど、予断を許さない状況で、予報通りこの地域を直撃していれば、同様の被害が出たことは容易に想像できることでした。

このように、気候変動等の影響により従来からは考えられないような雨の降り方は、日本全国の何処にでも災害が起こりうる状況となっています。木曾川用水総合管理所においても、このような災害から施設を守り、皆様に命の水を供給し続けることができるよう、気を引き締めて管理を行ってまいりますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本年が皆さま方にとって、明るく豊かな年になりますよう心から祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



木曾川用水総合管理所
所長 村上喜昭



農家滞在型体験研修

水資源機構では、新人職員(入社1年目～3年目)は農家滞在型体験研修を受講します。研修の目的は、農家に一定期間滞在し、農作業を体験するとともに農業における水利用や農業経営、農家生活の実情について身をもって知り、ユーザーである農家の視点に立つことによって得られた経験などから将来の機構業務遂行の礎とすることです。

【和田知也(管理課):本人の感想】

この度、私は岐阜県加茂郡富加町の(有)丸富園芸様で、農家研修をさせていただきました。丸富園芸様は、花きを生育されている花農家です。私は10月7日から10月18日までの2週間の間、ガーデンマムとよばれる菊の花の出荷に向けた準備を体験させていただきました。農場で生育している花をハウスに運び出し、花を綺麗に整え、出荷用段ボールに詰め出荷をするのが一連の流れです。整えられ、ハウスに広がる花々はとても綺麗で、私達機構が管理している水が、丸富園芸の花の一部となっていることを考えると、普段の私の仕事を誇らしく思えました。



ガーデンマム



花の整え作業



出荷準備

【乾洋登(総務課):本人の感想】

私は、岐阜県加茂郡富加町でタマネギ苗・植樹用のスギやヒノキ・米・白菜などを生産している、大竹薫様のもとで、11月11日から22日までの2週間にわたり、農家研修に参加させていただきました。タマネギ苗の出荷工程や、白菜の収穫など様々な経験をすることができましたが、中でもスギとヒノキのコンテナ栽培においては、雨の不足時に、機構が管理している用水をポンプで汲み上げ、スプリンクラーで散水することで補っており、農業をするうえで機構の水が欠かせない存在になっているということを実感しました。



タマネギ苗の引き抜き



タマネギ苗の選別



杉苗木の運搬作業

2人は今回の研修で、機構の経営理念である「安全で良質な水を安定して安くお届けする」ことの重要性を学べたと思います。水がなければ、農家は作物等を栽培できません。水の安定供給ができなくなれば、農家に多大なご迷惑をおかけします。今後はこのことを、しっかりと肝に銘じ、業務を行ってほしいと思います。



金尾理事長、日置副理事長が来所されました



金尾理事長

11月20日(水)、金尾理事長が、木曾川用水の視察をされました。長良導水や弥富各管理所、飛島チェック(ケーブル制震工法)、光西調節堰(併設排水路立切ゲート)を視察し、その後、総管で職員訓示を頂きました。そこでは、日頃からきめ細かい管理をされていることに対する感謝の言葉を頂きました。また風通しよく、コミュニケーションのある職場作りが大切ということで、今後は本社と管理所との垣根を出来るだけ取り除いていきたいという、ありがたいお話も頂きました。

また11月27日(水)、10月に就任された日置副理事長、柳川理事、小酒井理事の3名が、挨拶まわりの途中、木曾川用水総合管理所にも寄って頂き、職員訓示をして頂きました。副理事長には「水資源機構の仕事というのは、社会的にも意義が非常に高く、その分責務も重い訳ですが、水のプロ集団であることから、しっかりと誇りを持って業務を推進して下さい。」という言葉を頂きました。また職員の持てる能力を最大限発揮できるような環境作りを、役員一同推進していきたいという決意を聞くことができました。



日置副理事長

右岸緊改事業の報道機関向け見学会

12月10日(火)、来年度完了予定の木曾川右岸緊改事業の目的や実施状況及び木曾川右岸施設の役割についてより知って頂くために、広報業務の一環として報道機関向け見学会を行いました。老朽化した既設PC管の内側に新たな鋼管を設置する作業を、通水量が少なくなる冬期に実施しており、その作業にあわせて見学して頂きました。

当日はNHK岐阜放送局と建設通信新聞岐阜支局の2社が取材に来られました。岐阜県限定になりましたが、その日の夕方のNHKニュースで、事業の紹介と美濃加茂管理所の桜井所長のインタビューが放送されました。

これにより地域の方々に当該事業をより知って頂くことができましたと思います。大変有意義な見学会となりました。



工事概要説明



内挿管の搬入(吊り下ろし)



内挿管の挿入



桜井所長のインタビュー

インタビューでは「工事で気をつけている事は何か」という質問に対して「冬場でも水を農業、水道用水として使っていることから、工事をしながらでも、確実に水を送ることを気をつけている。」と答えていました。



サツキマス稚魚放流体験学習会

12月5日(木)、愛知県及び木曾川漁業協同組合と協働で、木曾川大堰において、稲沢市立長岡小学校全校児童130名の手による「サツキマス稚魚放流体験学習会」を実施しました。

このイベントは平成16年から毎年この時期に行われており、「木曾川の自然環境への理解と親しみを深めてもらう」とことと、水産資源の増加を目的としています。アマゴ約1,500匹(約140kg)を放流し、海で過ごした後、サツキマスとして戻ってくることを願うものです。当日は、会が始まってすぐに降ってきた通り雨が止むと、太陽の光が差し込み、偶然にも木曾川にはきれいな虹が架かり、その中で児童たちは、天候の影響も気にせず、楽しそうに放流を行いました。今後も地域の方々との交流を深めていきたいと考えています。



放流作業



水槽での観賞



6年生一同

技術研究発表会(理事長賞受賞)

水資源機構では、技術力の向上・技術の継承、及び職員の業務取り組みへの積極性を養うために、毎年、技術研究発表会を実施しています。今年も、12月10日(火)に、第53回、技術研究発表会が本社会議室で開催されました。中部管内の発表会で選ばれた、美濃加茂管理所の野中貴博さんが、昨年度の高濁度発生事象の状況報告と関係機関と定めた運用方針(案)による施設操作の方法及びその効果等について報告し、見事、理事長賞を獲得しました。

★受賞タイトルは「飛騨川高濁度発生時の対応について」です。関係機関と連携した取り組み内容を発表したものであり、関係者の皆様に感謝申し上げます。

野中さん、本当におめでとうございます。また大変お疲れ様でした。



発表時(野中貴博さん)

お知らせ

明けましておめでとうございます。

本年も本誌が皆さま方にご愛読いただけますよう努力して参りますとともに、読者の皆さまにとりまして良き年となりますように祈念します。

本年も引き続き皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキや当管理所ホームページ「お問合せ・ご意見」からどしどしお寄せ下さい。

編集部・発行



うるおい木曾

木曾川用水総合管理所
〒495-0036

愛知県稲沢市祖父江町馬飼寺東26-1
TEL(0587)97-3710 FAX(0587)97-1482

最新情報はこちらへ

ホームページ <http://www.water.go.jp/chubu/kisogawa>
又は【うるおい木曾】で検索してください。

出先管理所

美濃加茂管理所 〒505-0021 岐阜県美濃加茂市森山町4-9-20
TEL(0574)25-2121 FAX(0574)28-3354

弥富管理所 〒498-0014 愛知県弥富市五明3-15
TEL(0567)65-1650 FAX(0567)65-0445

長良導水管理所 〒511-1143 三重県桑名市長島町西外面1026
TEL(0594)42-5671 FAX(0594)42-5674